

ジャッソ
(JASSO)
日本学生支援機構
奨学金

大学併修プログラムを
検討されている皆さんへ

👉 **3**ページ上段 を確認してください

本案内は2024年度のJASSO奨学金制度の内容であることにご注意ください

JASSO奨学金とは

勉学に励む意欲があり、
経済的理由により修学の機会をあきらめ
ないよう、**学生本人に給付・貸与**が
されるものです。
貸与奨学金の**返還義務**も**学生本人**に
あります。

④JASSO奨学金と教育ローンは異なる
教育ローンは親が教育にかかる費用としてお金を借り
るものです。
(国の教育ローン、オリコ学費サポートプラン等)

親が子供に経済的負担をかけたくない、
学生本人が事務手続きをしない場合は、奨学金は
不向きな制度です。

高等教育の修学支援新制度

① JASSO給付奨学金

② 授業料（入学金）減免

の2つの支援を受けることができる制度
です。

※本制度（どちらか一方の場合含む）
を希望する場合は、JASSO給付奨学金を申し
込む必要があります。

2024年度変更

■ 給付奨学金の支援拡大

2024年度より第IV区分が新設されました。
世帯年収600万円程度

(実際には世帯構成・障がい者の有無・
各種保険料の支払い等によって異なる)

第IV区分は
「多子世帯」支援と「理工農系」支援
に分かれます。

■ 在留資格「家族滞在」対象

条件を満たした方であれば家族滞在の方も
奨学金の申込ができるようになりました。

予約採用

高校在学中（修成入学までの期間）

2024年4月～6月頃で**申込終了**（高校による）

※追加募集される場合もあるので、高校へ確認しましょう

※予約採用での申込を逃した場合は、在学採用で申し込みましょう

2024年4月～10月頃 **審査**

家計基準・学業基準のどちらか一方でも基準を満たさない場合は“不採用”となります

2024年10月下旬～1月下旬

高校経由で採用可否をお知らせ **3**ページ

修成入学後

2025年4月 **予約採用説明会**へ出席し

進学届を提出（WEB入力）

2025年5月 **奨学金の初回振込予定**

※4月・5月分の奨学金がまとめて振り込まれます

給付奨学金採用者：高等教育の修学支援新制度による授業料（入学金）減免を適用

在学採用

修成入学後

2025年4月 **新規申込説明会**へ出席

申込書類等を提出

2025年5月～6月 **審査**

2025年6月下旬以降

修成から採用可否をお知らせ

2025年7月 **奨学金の初回振込予定**

※4月～7月分の奨学金がまとめて振り込まれます

申込



▶1・2ページ

審査



▶1ページ

結果



初回振込



（本採用）

奨学生としての



責務

▶3ページ

卒業後



▶3ページ

採用後も説明会や書類提出・WEB入力など多々対応する必要があります。

また、**在学中の学修状況（出席率・成績等）**が厳しくチェックされます。

欠席過多や成績不良の場合、懲戒処分を受けた場合は、奨学生としての責務を果たしていないと判断され、

奨学金は振り込まれなくなります。給付奨学金では返還対象となる場合があります。

！貸与奨学金の返還！

毎月口座振替で返還
返還期間は10年を超える

専科進学

奨学金継続不可
専科で新規申込

大学編入学

継続できる奨学金あり

奨学金の種類・金額／学業・家計基準

種類

貸与奨学金	給付奨学金	<ul style="list-style-type: none"> 原則 返還が必要ない奨学金だが、在学中の学修成績等によっては返還が必要となる場合がある 家計基準に応じ、支援区分（第Ⅰ区分・第Ⅱ区分・第Ⅲ区分）が決定する 支援区分は年1回見直しされ、支援の停止、支援区分の変更等が生じることがある 高等教育の修学支援新制度により、入学金・授業料減免支援を併せて受けられる
	第一種奨学金	<ul style="list-style-type: none"> 無利子（借りた分だけ返す） 給付奨学金と併せて受ける場合、第一種奨学金の貸与金額が調整される（併給調整という）
	第二種奨学金 (入学時特別増額貸与奨学金)	<ul style="list-style-type: none"> 有利子（借りた分以上に返す必要がある 利率上限3.0%）（貸与終了月の利率が適用される） 《参考》2024年3月貸与終了者 利率固定0.940% 利率見直し0.400% 有利子かつ、第二種奨学金の利率より高く設定される 第一種または第二種にプラスする奨学金であり、この奨学金のみ希望することはできない

第一種・第二種とも受けることを併用貸与と言う

金額

奨学金（月額）

給付奨学金			第一種奨学金			第二種奨学金			入学時特別増額貸与奨学金	
支援区分	自宅通学	自宅外通学	昼間部	自宅通学	自宅外通学	夜間部	自宅通学	自宅外通学	月額を選択	金額を選択
第Ⅰ区分	38,300円 (42,500円)	75,800円	第Ⅰ区分	0円	0円	第Ⅰ区分	0円	0円	40,000円	200,000円
第Ⅱ区分	25,600円 (28,400円)	50,600円	第Ⅱ区分	0円	0円	第Ⅱ区分	5,700円 (9,900円)	0円	70,000円	400,000円
第Ⅲ区分	12,800円 (14,200円)	25,300円	第Ⅲ区分	23,800円 (29,400円)	18,300円	第Ⅲ区分	29,300円 (20,000円)	23,800円	100,000円	100,000円
第Ⅳ区分	多子世帯	9,600円 (10,700円)	第Ⅳ区分	多子世帯	20,000円 (20,000円)	第Ⅳ区分	多子世帯	20,000円 (20,000円)	20,000円	300,000円
	理工農系	0円		理工農系	20,000円 (20,000円)		理工農系	20,000円 (20,000円)	20,000円	500,000円

↓第Ⅳ区分の説明



○ () は生活保護を受けている生計維持者と同居している人および社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学し「自宅通学」扱いとなる人
○ 自宅外通学の金額は、修成入学後に自宅外通学の申請を行い、JASSOの審査が通った人に限られます（貸付借約書等必要）

昼間部 高等教育の修学支援新制度による減免支援

授業料減免	4月～9月	10月～3月	入学金減免	正規	高校指定校	OC参加
第Ⅰ区分	295,000円	295,000円	第Ⅰ区分	100,000円	30,000円	50,000円
第Ⅱ区分	196,700円	196,700円	第Ⅱ区分	66,700円	20,000円	33,400円
第Ⅲ区分	98,400円	98,300円	第Ⅲ区分	33,400円	10,000円	16,700円
第Ⅳ区分	73,800円	73,700円	第Ⅳ区分	25,000円	7,500円	12,500円

夜間部 高等教育の修学支援新制度による減免支援

授業料減免	4月～9月	10月～3月	入学金減免	正規	高校指定校	OC参加
第Ⅰ区分	195,000円	195,000円	第Ⅰ区分	70,000円	30,000円	20,000円
第Ⅱ区分	130,000円	130,000円	第Ⅱ区分	46,700円	20,000円	13,400円
第Ⅲ区分	65,000円	65,000円	第Ⅲ区分	23,400円	10,000円	6,700円
第Ⅳ区分	48,800円	48,700円	第Ⅳ区分	17,500円	7,500円	5,000円

○ 入学時校納金を納入する際には適用されません。（入学後 適用します）
○ 実際の支援時に100円の差が生じる場合があります
○ 入学金の減免は入学年の4月に適用された区分によって支援が行われるため、1年次秋採用の方や2年次に採用された方は入学金支援は対象となりません

貸与奨学金のみ採用

奨学金（月額）	第一種奨学金		第二種奨学金			入学時特別増額貸与奨学金	
	自宅通学	自宅外通学	月額を選択	20,000円	30,000円	金額を選択	100,000円
最高月額	53,000円	60,000円	40,000円	50,000円	60,000円	200,000円	300,000円
最高月額以外	40,000円 30,000円 20,000円	50,000円 40,000円 30,000円 20,000円	70,000円	80,000円	90,000円	400,000円	500,000円

※最高月額は併用貸与の家計基準に該当する場合のみ

高校卒業から5年以上経過により発行できない事由に限る

学業基準

在学採用の場合

※予約採用は基準が異なります

高等学校卒業 (調査書or成績証明書が発行できる場合)		高等学校卒業 (調査書・成績証明書とも発行できない場合)		2年次での申込	
給付	最終の評定平均3.5以上 (3.4以下：学修計画書)	給付	※給付申込資格なしと思われる	給付	所属学科内においてGPA上位1/2 (満たさない場合：学修計画書)
第一種	最終2ヶ年の評定平均3.2以上	第一種	入学後の基礎学力試験等総合的判断	第一種	所属学科内においてGPA上位1/3
第二種	学修意欲+修業年限で確実に卒業できる見込みがあること等	第二種	学修意欲+修業年限で確実に卒業できる見込みがあること等	第二種	学修意欲+修業年限で確実に卒業できる見込みがあること等
高校卒業程度認定試験合格		大学・専修学校専門課程卒業		専科2級・1級での申込	
給付	※給付申込資格がある年数かの確認必要	給付	※給付申込資格なしと思われる	給付	入試成績：入学者の上位1/2 (満たさない場合：学修計画書)
第一種	高卒認定合格	第一種	大学・専修学校専門課程の成績証明で判定	第一種	前籍の学科での成績と専科の入試成績の総合が上位1/3
第二種	学修意欲+修業年限で確実に卒業できる見込みがあること等	第二種	学修意欲+修業年限で確実に卒業できる見込みがあること等	第二種	学修意欲+修業年限で確実に卒業できる見込みがあること等

予約採用ならびに2025年4月在学採用の場合、2023年の収入を基づく2024年度の住民税情報により審査が実施される

家計基準

マイナンバーでJASSOが審査を行います

- 給付奨学金の審査対象：生計維持者+学生本人
- 貸与奨学金の審査対象：生計維持者

進学資金シミュレーター →

給付奨学金対象となるかの目安等を確認可能



＜資産基準＞ 給付奨学金については、収入だけでなく、資産基準も問われる。

【対象】現金及びこれに準ずるもの、預貯金、有価証券、

満期や解約により現金化した保険

※土地、建物等の不動産は対象外。住宅ローン等の負債との相殺不可。

●生計維持者2名（父母ともにいる）：生計維持者+学生本人の資産 2,000万円未満

●生計維持者1名：生計維持者+学生本人の資産 1,250万円未満

申込方法

予約採用

高校卒業年次の者・高校卒業から2年以内の者 ▶【在籍する（卒業した）高校での申込】
 高卒認定合格者 ▶【日本学生支援機構】

在学採用

修成入学後に申し込む方法（定期採用（年2回：春・秋）、家計急変（修成入学後随時））

生計維持者

JASSO奨学金は学生本人に給付・貸与がされますが、家計審査は生計維持者（父母）が対象となります。
 マイナンバーの提出等が必要となるので、生計維持者の協力が必要です。

※給付奨学金の家計審査は、生計維持者だけでなく、学生本人の収入も対象となります。

※父母ともいない場合、学生自身が結婚している場合は相談してください。（学生自身を独立生計者とみなすには条件があります）

外国籍の方

奨学金申込が可能な在留資格

・法定特別永住者・永住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等・定住者（将来永住する意思がある者に限る）・家族滞在

《家族滞在の在留資格等以外の要件》 次の①～④の条件を全て満たす人

- ①日本国の小学校卒業前に日本国に初めて入国した人もしくは日本国の小学校を卒業した人
- ②日本国の中学校を卒業した人
- ③日本国の高等学校等を卒業した人（予約採用の場合は卒業予定）
- ④修成卒業後に日本国で就労し、定着する意思のある人

年齢等の制限

貸与奨学金：学生自身の年齢による申込制限はありません

給付奨学金：高等学校等卒業から2年の内に修成へ入学した者であること（高卒認定は別に定める）

（例）2025年度入学の場合 →2025年3月高校卒業・2024年3月高校卒業・2023年3月高校卒業

過去の奨学金利用

過去に複数の大学・専門学校でJASSO奨学金を利用した方は、修成で奨学金の利用ができない場合があります。修成入学後、奨学金申込の際に、これまでに受けた全ての奨学生番号の提示をしてください。

※修成と大学のダブルスクールの場合、両校で同時にJASSO奨学金を受けることはできません。

例えば大学でJASSO奨学金を受けている場合は、修成では奨学金の申込はできません。（大学在学中に貸与を終了している場合は相談を）

※過去に受けた貸与奨学金を延滞している場合は採用が保留となったり、取り消しとなります。

また、JASSOの貸与奨学金を受けながら、過去の奨学金の返還をすることはできません。

★過去に受けたJASSO貸与奨学金を返還中の場合

修成入学後、「在学猶予」の手続きを行うことで、修成卒業まで返還を猶予することができます。
 手続きに必要な修成の学校番号等は入学後確認してください。（WEB等で案内予定）

貸与奨学金は、奨学金申込時に保証制度の選択が必要です。（人的保証または機関保証）

人的保証

連帯保証人（原則 父母どちらか）、保証人（原則 父母除く4親等以内の親族かつ65歳未満等の条件）の選任が必要

奨学金の返還は貸与終了後、10年を超える期間、毎月返還が必要とるため、その間 連帯保証・保証しなければならないことに注意
 債務整理中（破産等）でないこと。

機関保証

毎月の奨学金から一定の保証料が差し引かれますが、親・親戚等に保証依頼不要

保証料が差し引かれるからといって、返還しなくて良いわけではありません。機関保証であっても必ず返還が必要です。

もともと借りた金額に対して返還しなければならないことに注意。（保証料が差し引かれた後の振込額を返すわけではない）

【保証料目安】貸与月額 53,000円 — 保証料1,608円 = 奨学金振込額51,392円

貸与月額100,000円 — 保証料4,423円 = 奨学金振込額95,577円

予約採用の方へ

高校で選択した保証制度から修成入学後の手続きにて保証制度を変更することができます。

（例）高校での申込時「人的保証」を選択

→保証人から保証を断られたため、修成入学後の手続きで「機関保証」へ変更する

貸与保証制度

在学中・卒業後／予約採用

大学併修プログラム

修成建設専門学校（通学部）または大阪芸術大学（通信教育部）の
どちらか一方で奨学金を利用することができます。

[POINT] 修成で受ける → この案内をよく確認しよう！
大芸大で受ける → この案内ではなく、大芸大（通信教育部）のホームページ等を確認しよう！

給付奨学金	1年目		2年目		3年目		4年目	
	本科1年	本科2年	専科2級建築士科	専科1級建築士科	専科2級建築士科	専科1級建築士科	専科2級建築士科	専科1級建築士科
パターン1	受けた	受けた	申込資格×	申込資格×	申込資格×	申込資格×	申込資格×	申込資格×
パターン2	受けなかった	受けた	申込資格×	申込資格×	申込資格×	申込資格×	申込資格×	申込資格×
パターン3	受けなかった	受けなかった	申込資格あり	申込資格×	申込資格×	申込資格×	申込資格×	申込資格×
パターン4	受けなかった	受けなかった	受けなかった	申込資格×	申込資格×	申込資格×	申込資格×	申込資格×

貸与奨学金	1年目		2年目		3年目		4年目	
	本科1年	本科2年	専科2級建築士科	専科1級建築士科	専科2級建築士科	専科1級建築士科	専科2級建築士科	専科1級建築士科
パターン1	受けた	受けた	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり
パターン2	受けなかった	受けた	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり
パターン3	受けなかった	受けなかった	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり
パターン4	受けなかった	受けなかった	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり	申込資格あり

《注意事項》

- ・上記の表は2025年3月高等学校卒業→2025年4月修成入学の場合です。
- ・高校卒業から修成入学までに間が空いている場合は上記の通りとはなりません。
- ・本科（2年課程）、専科2級、専科1級で奨学金を継続することはできません。**各学科を卒業＝給付・貸与終了**となります。

在学中
適格認定

給付奨学金

学業の適格認定を年2回（前期・後期）、家計の適格認定を年1回（9月実施→10月新区分反映）

学業：学修意欲、学業成績を確認判定内容によっては、打ち切りや返還対象となることもある。

家計：前年の収入により支援区分が見直される。停止や区分変更が生じることもある。

1年次												2年次																							
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月												
入学												進級																							
【1年前期】学業の適格認定▲						【1年後期】学業の適格認定▲						【2年前期】学業の適格認定▲						【2年後期】学業の適格認定▲																	
2023年収入に基づく支援区分												2024年収入に基づく支援区分												2025年収入に基づく支援区分											

※最初に採用された支援区分が卒業まで適用されるとは限りません

貸与奨学金

- 長期欠席 →奨学金の休止 出席が確認できた後も休止した月数の奨学金を受け取ることはできません
- 卒業できないことが確定 →奨学金を受ける資格がなくなります
- 1年次の年度末に「人物」「学業」「家計」における適格認定を実施

卒業後
返還

貸与奨学金は、貸与終了月の翌月から数えて7ヶ月目から返還が始まります。

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	・・・		
卒業	収支をしっかり把握し、返還開始に備える						返還開始	→				

	貸与月額	貸与月数	貸与総額	毎月の返還額目安		備考
				返還回数(年数)	返還回数(年数)	
第一種奨学金	53,000円	24ヶ月	1,272,000円	8,833円	144回(12年)	返数は最終回で調整 利率1.00%の場合 返数は最終回で調整
第二種奨学金	100,000円	24ヶ月	2,400,000円	14,428円	180回(15年)	

卒業後
専科・大学編入

専科進学

本科（2年課程の学科）で受けた給付奨学金・貸与奨学金は卒業＝奨学金終了となります。

専科は本科卒業後に進む“上級課程”であり、本科での奨学金は継続できないため、専科入学後に新規で申込が必要。

※本科で給付奨学金を受けた者は、専科では給付奨学金の申込はできません。（貸与奨学金は申込可能）

※本科で受けた貸与奨学金の返還は、専科入学後“在学猶予”手続きをすることで専科卒業まで返還の猶予を受けることができます。

大学編入学

本科（2年課程の学科）を卒業後、1年以内に大学へ編入学した場合、本科で受けていた「給付奨学金」「第二種奨学金」を継続して受けられる場合があります。

※修成では判断できないため、必ず編入先の大学へ確認が必要。継続できない場合は、大学編入学後 新規で申込が必要。

【予約採用】令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知を高校経由で受け取ったら・・・

① 全ての書類をよく読みましょう！ 高校からの通知は10月下旬～1月下旬

② 修成入学までの間に、採用候補となった奨学金について
ご家族で再度話しましょう！

◀「貸与奨学金」・貸与月額・保証制度（人的or機関）など

※給付奨学金と併せて第一種も採用されている場合、第一種奨学金の貸与額が調整されるので注意しましょう！

調整後の金額は▶1奨学金の種類・金額を確認してください

③ 全ての書類をなくさないようにしっかり保管しましょう！
修成入学時に必要です！

候補者決定通知の修成への提出については、2月以降にご案内しますので、指示があるまでは修成へ提出しないでください。



採用候補の内容

令和6年度の決定通知のsample
※令和7年度分は記載内容が変更される場合があります